

平成 2 8 年 第 2 回

教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

平成 2 8 年 2 月 5 日

平成28年第2回教育委員会定例会会議録

平成28年2月5日(金)

出席者(5名)

教育長 高部 明夫
委員 角田 徹
委員 高橋 京子

委員 池田 清貴
委員 須藤 金一

欠席者(0名)

出席説明員

教育部長・調整担当部長

山口 忠嗣

総務課長

高松 真也

学務課教育支援担当課長・指導課支
援教育担当課長・総合教育相談室長

田中 容子

指導課教育施策担当課長

所 夏目

生涯学習課長

古谷 一祐

総合スポーツセンター建設推進室

総務担当課長

向井 研一

三鷹図書館長

田中 博文

生涯学習担当部長

宇山 陽子

学務課長

桑名 茂

指導課長

宮崎 倉太郎

指導課教職員担当課長

田中 通世

スポーツ振興課長・総合スポーツセンター

建設推進室長

室谷 浩一

社会教育会館長

新名 清人

指導課統括指導主事

宮城 洋之

事務局職員

副参事

本村 建二郎

主事

大塚 俊介

平成28年第2回教育委員会定例会
議 事 日 程

平成28年2月5日（金）午後1時開議

- 日程第1 議案第3号 平成28年度基本方針の承認について
- 日程第2 議案第4号 平成27年度一般会計補正予算見積書について
- 日程第3 三鷹市立小・中学校卒業式及び入学式に使用する告辞文について（協議）
- 日程第4 教育長報告
- 日程第5 議案第5号 校長人事の内申について
- 日程第6 議案第6号 副校長人事の内申について

午後 1時06分 開会

○高部教育長 それでは、ただいまから平成28年第2回教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議録の署名委員は、須藤委員にお願いをいたします。

それでは議事日程に従いまして、議事を進めてまいります。

日程第1 議案第3号 平成28年度基本方針の承認について

○高部教育長 日程第1 議案第3号を議題といたします。

(書記朗読)

○高部教育長 提案理由の説明をお願いします。

○山口教育部長 それでは、私から、平成28年度基本方針案についてご説明をさせていただきますと思います。議案書に、横長のA3判の新旧対照表をおつけしてございますので、こちらをごらんいただきたいと思います。

左右対照で、左側が平成28年度、今回作成分、右側が昨年度、27年度分ということでございまして、訂正、修正した部分には網かけをしておりますので、ごらんをいただきたいと思います。

この基本方針につきましては、三鷹市の教育が目指すべき中長期の施策の方向性が定められております三鷹市教育ビジョン2022に基づきまして、教育委員会として、各年度における取り組みについての取りまとめを行ったものでございます。

今回、平成28年度につきましては、三鷹市第4次基本計画第1次改定、三鷹市教育ビジョン2022等の個別計画の第1次改定作業の年でございます。今回は、こうした内容を反映した部分となっておりますので、それぞれ、素案等でご説明をした内容と重なる部分もございますので、その旨、ご了承いただければと思います。

資料の一番右の欄に、今回の修正点のポイントを簡単な説明文としてお示しをしておりますけれども、第4次基本計画、教育ビジョン2022等の個別計画の改定に伴います修正箇所につきましては、その旨、記載をしているところでございます。

なお、今回、ご協議をいただきます内容と、3月、市議会定例会でご審議をいただきます平成28年度予算を踏まえまして、事業計画を作成いたします。事業計画では、今回の基本方針に基づく平成28年度より具体的な取り組みを記載させていただく予定でございます。

私から、学校教育について説明をさせていただきます。

まず、横長の資料の20ページをごらんいただきたいと思います。こちら、学校教育の指導目標の中の目指す子ども像の上となりますけれども、網かけの部分がございます。お手元に、参考までに、個別計画、教育ビジョン2022第1次改定の冊子をお配りしてございますので、そちらをお開きいただきたいと思いますが、5ページをごらんいただきたいと思います。こちらの網かけ部分、三鷹市教育委員会では、この「人間力」、「社会力」を身に付けさせるために、という4行でございますけれども、これは総合教育会議も含め

まして、教育ビジョン2022第1次改定素案に対するご意見等を反映いたしまして、教育ビジョン2022に追記をした内容でございまして、今回、それと同じ内容をこの基本方針に記載したというものでございます。

その資料のお隣、21ページでございます。こちら、目標Ⅰ、地域とともに、協働する教育を進めますの1、コミュニティ・スクールの機能の充実でございまして、こちらも教育ビジョン、これは10ページになりますが、改定内容を反映いたしまして、コミュニティ・スクールにおける協議の活性化、円滑な運営のためのコンプライアンスの意識啓発について追記をいたしました。

その下の2、地域人財の育成と協働の推進ということでございます。教育ボランティア対象講座の開催目的を明確にするとともに、こうした取り組みによりまして、人財発掘と養成に努める旨、記載をするとともに、文言の整理を行っております。

その下、コミュニティ・スクールの充実に向けた支援体制の整備でございます。22ページにかけての記載となりますけれども、持続可能な組織に向け、コミュニティ・スクールへの適時、適切な情報提供と各学園のコミュニティ・スクール委員会の実情を踏まえた、幅広い支援について追記をいたしました。

さらに、その下、2の知・徳・体の調和のとれた三鷹の子どもを育てる教育内容の充実でございます。これはお隣、23ページにかけての記載となりますけれども、平成27年3月に道徳が特別の教科として学習指導要領に位置づけられましたので、その充実について加筆をするとともに、現代的課題となっておりますネット依存や情報モラルなどのICT教育の指導の推進につきましても追記をいたしました。

その右の欄でございますけれども、27年度の（注3）というところに投げる力に関する記載がございますけれども、27年度、単年度の東京都市長会の補助事業として実施をいたしましたものでございますが、28年度では削除をしてございますけれども、引き続き、関係団体等々のご協力をいただきながら、投げる力を初めとする児童・生徒の体力、運動能力の育成を継続していく予定でございます。

4、生活指導の充実でございます。いじめ防止対策に向けた具体的な取り組みといたしまして、条例に基づく三鷹市いじめ問題対策協議会の役割と、その点検、評価によります、いじめ防止対策の推進について追記をいたしまして、より自律的な学園、学校づくりを推進するということから、教育ビジョン2022、こちらは14ページになりますが、この中で説明させていただきまして、最重点課題とさせていただいたところがございます。

さらに、その下、5、多様な教育的ニーズに対応した教育の推進でございます。24ページにかけてでございますが、教育支援プラン2022の改定内容を反映いたしまして、教育支援に対する教員の連携強化や研修の充実、東京都が示しました「特別支援教室の導入ガイドライン」に基づきます「校内通級教室（仮称）」に向けた準備といたしまして、ハード、ソフト両面の整備に向けた検討について記載をいたしました。

目標Ⅲの1、学園長・校長の学校経営ビジョンに基づく特色ある学園・学校づくりの推進でございます。学園長、校長の総合的なマネジメント能力の向上によります、特色あ

る学園・学校づくりを推進し、今日的な課題に対応するための若手教員の育成や学校内外の緊密な連携について追記をいたしまして、自律的な学園・学校づくりを推進するということから、こちらを最重点課題とさせていただいたところでございます。こちらは教育ビジョン、16ページに同様の記載があるところでございます。

続きまして、25ページ、上段、3か所の網かけにつきまして、他の方針や基本計画の改定に合わせた文言の修正をいたしました。

3、三鷹教育・子育て研究所の活用でございます。こちらでも教育ビジョン2022の改定に合わせた修正ではございますけれども、今後ますます活用が期待をされます学校配置のICTを活用いたしまして、蓄積された研究成果やすぐれた実践を教員相互に共有するための仕組みづくりを検討する旨、追記をいたしました。

その下、目標のIV、安全で快適な、充実した教育環境を整えますの1、子どもの安全・安心の確保でございます。防犯カメラ設置に当たりまして、学校、保護者、地域等と連携しながら、丁寧に進めていく旨、補足をさせていただきました。

その下の学校給食の委託化、こちらにつきましては、教育ビジョン2022、18ページに記載がございしますが、改定に合わせまして、平成27年度では目標IVの2に記載してございましたものを構成を見直しまして、より適切な記載箇所として、こちらに移動するとともに、食育と安全でおいしい学校給食の充実の一環といたしまして、市内産野菜の活用について追記をいたしました。

26ページになります。2の安全で快適な学校施設づくりの推進でございます。平成27年度の調査をもとに、新たに学校施設の長寿命化工事を計画的に実施することといたしましたことから、最重点施策というふうにさせていただいたところでございます。

4のICTを活用した魅力ある教育環境の整備と利活用でございます。校務におけますICTの活用が経常化したことから、27年度は最重点課題としてございましたが、こちらを重点課題とするとともに、授業モデルの研究や成果の検証を通しまして、広く市内の小・中学校での実践につなげる旨、記載をするとともに、文言の修正を行ったところでございます。

5番、児童・生徒数の増減に対応した適正な学習環境の確保でございます。こちらにつきましては、これまでご説明をまいりました高山小学校への対応、あるいは全市的な児童・生徒数の動向の把握につきまして、第4次基本計画、教育ビジョン2022の改定内容を反映したところでございます。

6、教育センターの耐震補強等工事の実施でございます。こちらは、第4次基本計画第1次改定素案の中で触れさせていただきましたけれども、新たに追加した項目でございます。教育センターの耐震化工事、あわせまして、老朽化した施設の更新に向けた取り組みについて追記をいたしました。

お隣、27ページの7、校外学習施設「三鷹市川上郷自然の村」の効率的な運営の推進とあり方の検討でございます。こちらでもご報告をまいりました、同施設への対応につきまして、事業の進捗に基づく記載とさせていただいたところでございます。

学校教育は以上でございます。

○宇山生涯学習担当部長　　続きまして、生涯学習分野についてご説明をさせていただきます。

29ページをごらんください。一の生涯学習の推進目標ですが、生涯学習プラン2022の第1次改定に追加された生涯学習振興行政の総合的推進の視点を追記するというところで、中段ですが、三鷹市の市長部局を初め、NPO、大学、民間団体、企業等とも連携するネットワーク型生涯学習振興行政を総合的に推進しという言葉を追記しております。

その下、目標のⅠ、生涯学習社会の実現に向けた学習環境の整備の推進ですが、次ページ、30ページの4になります。生涯学習にかかわる新たな拠点の整備でございます。こちらに新川防災公園・多機能複合施設（仮称）の事業の進捗に伴う時点修正とともに、28年度の主な取り組みを明記いたしました。

その下、大沢二丁目古民家（仮称）についてですが、28年度には基本設計、実施設計、解体工事等を行いますので、その旨を追記しております。

その下、遺跡調査業務の見直しに向けた取り組みでございます。埋蔵文化財の保存活用新たな体制の確立に向けまして、一部、民間会社の活用等も含め、効率的、効果的な体制をつくり出すために見直しを行うという内容を追記しております。

31ページをごらんください。こちら、目標Ⅱの市民の多様な学習活動の支援と生涯学習によるまちづくりの推進の1でございますが、生涯学習の拠点の整備ということで、生涯学習センターの、ここでは事業の概要を明記しております。

また、その下に社会教育会館と下連雀図書館の閉館について、閉館に向けた準備等に取り組むということを追記しております。

その下の4、学校・家庭・地域との連携による生涯学習の推進ですが、こちらには、リーフレット「ネット社会を生きる力を育むために」について追記をしております。

32ページをごらんください。目標のⅢ、地域の情報拠点としての図書館活動の推進です。1番に、「図書館基本運営方針（仮称）」の策定について掲げております。新たに策定をする内容で、時代の変化によって、多様化しているニーズや社会の要請に対応して、新たな方針を策定するというものでございます。

33ページをごらんください。4番の図書館サービス網の再編に向けた取り組みでございます。こちらは第4次三鷹市基本計画、そして個別計画との整合性を図りまして、28年度に取り組むことになりました新たな取り組みについて、追記をしているところです。井の頭住民協議会及び生活環境部と具体的なコミュニティ・センター図書室との連携について検討を進めるということと、それから、老朽化した移動図書館の車両の更新、その有効活用に向けた検討や、下連雀図書館の廃止に向けて、巡回ステーションの見直しなどについて検討して、市内全般にきめ細やかな図書館サービスを展開していくことを追記しております。

その下、Ⅳ、生涯にわたり親しむことができる豊かなスポーツライフの推進でございます。1番につきまして、第4次三鷹市基本計画との整合を図りまして、総合スポーツセンター（仮称）の事業の概要や、既存施設の閉館と和洋弓場の整備について明記しているところでございます。

34ページをごらんください。28年度に予定している新たな取り組みということで、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けての気運の醸成に向けた普及啓発活動について追記しております。

それから、4番としまして、同じく28年度の取り組みとして、スポーツイベントや高齢者、障がい者スポーツ活動の推進をサポートするスポーツボランティアの育成ということを新たに追記をしております。

そして、5番目のところですが、体育施設の円滑な運営と維持管理の充実という項目で、こちらの文言を修正するとともに、28年度10月から、大沢野川グラウンドが調節池拡大工事により一時閉鎖が予定されております。こちらについて、代替施設として、民間体育施設の活用と確保について、一層の拡充を進めていくという内容を盛り込んでいるところです。

説明は以上です。

○高部教育長 以上で提案理由の説明は終わりました。委員の皆様の質疑をお願いいたします。

○角田委員 よろしいでしょうか。

○高部教育長 はい。

○角田委員 以前にもご説明を受けたかもしれないんですが、33ページ、4、図書館サービス網の再編。今移動図書館の車のお話が出ていたんですけども、図書館の利用者数とか蔵書数のご報告を受けた覚えがあるんですが、移動図書館の利用状況とか稼働日数とかがわかれば、どの程度か教えていただきたいと思います。

○高部教育長 田中館長。

○田中三鷹図書館長 巡回のステーションには、年間で平均333回、巡回をさせていただいております。滞在時間は、短いところでは約30分程度なんですけど、長いところでは2時間半の滞在をしております。本の積載については、3,500から4,000冊を車に載せて、専任の運転手が巡回をしている形になっております。また、利用人数は、多いところでは、ブックカフェの開催を共同でさせていただいているところです。

○角田委員 ありがとうございます。

○高部教育長 全部のステーション、トータルで何人なのかというのはわかりますか。

○田中三鷹図書館長 ステーションは、全部で13か所設けており、年間で約1万人程度の利用者がいます。

○角田委員 1万人を333回で割れば、大体一回30人程度ということになりますか。

○田中三鷹図書館長 そうです。はい。

○角田委員 その状況は、過去数年間、同じなんですか。減っているかとか、増えているというのはどうなんですか。

○田中三鷹図書館長 南部図書館の開館に伴って、一番利用者が多かった新川の団地と中原の団地のところのステーションの二つを廃止しておりますので、その部分での利用減というのはございますが、その分、南部図書館の利用が増えているということもありますので、移動図書館としての実績としては、多少、減にはなっております。

○角田委員 十分、利用度は高いということなんですね。

○田中三鷹図書館長 はい。

○高部教育長 よろしいでしょうか。

○角田委員 はい。

○高部教育長 ほかにいかがでしょうか。はい、池田委員。

○池田委員 21ページの目標Iの1、コミュニティ・スクールの機能の充実というところで、網かけのところにコンプライアンスということがわざわざ挿入されているんですが、これは何か、この間に入れなければいけないような事情があったとかということがございましたら、教えていただけますか。

○高部教育長 所課長。

○所指導課教育施策担当課長 特に何かが起こったというわけではないんですけども、今、あらゆる面でコンプライアンスの充実というのが言われている中で、ボランティアやコミュニティ・スクールなども、そういった意識で取り組んでいただくことが大切であろうということで記載をしております。

○高部教育長 補足しますと、コミュニティ・スクール委員は、市民の方、保護者や地域の方ということで、年代が違ったり、いろいろな経験、さまざまなお持ちの方が一緒の合議体でディスカッションするということですが、ともすると、新しく参加した方にとっては、意見が出しにくいとか、場合によっては、セクハラも起こるかもしれない。そういうことを、会議のルールを確認しながら、お互いが意見を出しやすい、そういう闊達な合議体としての雰囲気づくりをやっていきましょう、そのベースに、身分的には学校運営協議会という、非常勤特別職であって、実質は、ボランティアなんですけれども、そういうルールを確認しましょうということが背景にあります。

ほかにいかがでしょうか。高橋委員、どうぞ。

○高橋委員 24ページでしょうか、学園長・校長の学校経営ビジョンに基づく特色ある学園・学校づくりの推進を最重点に入れてくださっていることを私は非常に、これから先につながるのだと思っています。チーム学校ということを経営にしていかなきゃいけないというときに、いかに学園長、校長がマネジメント能力が高いかが大事な要素になってくると思うんですが、具体的に何か、こういう形で場を持つとか、活動を組もうとか、そういうことも含めて、考えておられることがあったら、お聞かせいただけたらと思います。

○高部教育長 所課長。

○所指導課教育施策担当課長 今、特別に何かの場を持つということはやっていないんですけども、学園の経営という意味では、学園長会議というのを毎月開いておりますので、そういった中で、マネジメントに必要なことは、教育委員会からも伝達しますし、互いに学園から出していただいて、共通理解するというような取り組みをしております。

○高橋委員 わかりました。

○高部教育長 補足させていただきますと、今回、学校人財育成方針を一部改定しましたけれども、その中でも、管理職としてトータルなマネジメント力、その目標設定、お互

いの合意形成、それから、実施するとき、いろいろな外部の資源、教員力、そういうものを高めながら目標を達成して、点検、評価しながら改善していこうという、そういうものをきちっと管理職として認識してくださいということを知りやすく位置づけていますので、そういった研修の機会とかに、そういうものを活用していただくということも考えています。よろしいでしょうか。

ほかにいかがでしょうか。はい、須藤委員。

○須藤委員 30ページの4番の下、三鷹市の遺跡調査会に関するところなんです、これは埋蔵文化財の保存活用の新たな体制確立に向けてということで、今後、三鷹の遺跡調査会については縮小していくようなことなんでしょうか。

○高部教育長 今の検討状況について、どうぞ、部長。

○宇山生涯学習担当部長 埋蔵文化財は地域の貴重な財産であるということで、適切な保存と公開活用というのが重要なわけですけれども、開発届が出た場合の対応ということなので、かなり迅速な対応が求められます。人材確保を柔軟に行うというメリットがあるということで任意団体として遺跡調査会が設置をされたのが昭和53年ということなんです、その時期から大分たって、そういうメリットがかなり少なくなっているということと、小さな、限られた組織体制でございますので、業務の円滑な遂行が難しくなっているというような面もあります。

実際、遺跡調査会として、正規職員は1名なんですけれども、そちらが28年度末で定年退職を迎えるということもありまして、そのほかは期限付きの職員というような形ですので、ここで組織体制のあり方と、それから業務全般の効率化ということを考えて、見直しを行って、解散も視野に入れて、新たな体制を築いていくことを考えております。

○須藤委員 わかりました。

○高部教育長 ほかにいかがでしょうか。

私から二つ、お願いしたいんですけれども、一つは、先ほどのコミュニティ・スクールの機能の充実のところ、教育ビジョンで改定されたところを反映したのは結構なんです、21ページから22ページにかけてなんですけれども、21ページの下は、支援体制の整備という趣旨なので、おそらく適切、適時な情報提供という、主語は書いていませんが、おそらく教育委員会から、それぞれの学園とかコミュニティ・スクールに情報提供していこう、研修の機会を設けていこうという趣旨なんですけれども、今、10年たって、活発化しているのは、やっぱり学園間の交流なんです。意見交換とか発表とか。お互いに学びながら、また改善していくというところが出てきて、例えば教育ビジョンの中ではそれを、教育ビジョンの10ページですけれども、1番目の機能の充実の中の最初の丸の下に、学園間の交流、連携の推進を通してということを入れてもらったんです。ですから、基本方針にもそれがわかるように、追加してもらえますか。

○山口教育部長 わかりました。

○高部教育長 それともう一つ、高山小学校の件なんですけれども、26ページです。26ページの5の適正な学習環境の確保のところなんです、これは教育ビジョンに合わせて、こういう文言を修正して、それを踏まえたというのはいいんですけれども、例えば、

ほかの生涯学習分野の、先ほどの修正箇所を見ると、ハード系はわりと年次目標を入れてありますね。28年度からとか、29年度にはとか。高山小学校の件はまさに時限付き新校舎ということで、27年度設計して、28年度工事ということで、まさに取りかかるわけですね。ですから、対応という、今までどおりの何か漠然とした中身なので、もう少し踏み込んで、これはおそらく事業計画を書くときには、もうちょっと具体的な中身になってくると思うんですけども、年次の部分とか、時限付き新校舎でいくんだというところを基本方針でわかるようにしていただいたほうがいいのかなと思います。

○山口教育部長 より明確にさせていただきます。

○高部教育長 いいですかね。お願いします。

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ほかにご質問、ご意見等がなければ、採決いたします。

議案第3号 平成28年度基本方針の承認につきましては、ただいまご審議をいただいた点を踏まえて、若干の手直しを含むことで可決することにご異議はございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○高部教育長 ありがとうございます。それでは、本件は若干の見直しを含めて、可決されました。

日程第2 議案第4号 平成27年度一般会計補正予算見積書について

○高部教育長 日程第2 議案第4号を議題といたします。

(書記朗読)

○高部教育長 提案理由の説明をお願いします。高松課長。

○高松総務課長 では、議案第4号 平成27年度一般会計補正予算見積書についてご説明をいたします。

別冊になっております資料をごらんください。この議案は、3月の市議会定例会での市の補正予算案の提出に向けまして、教育委員会所管予算の見積書を市長に提出するために、委員会でご審議をいただくというものでございます。

別冊になっております議案書の1ページをごらんいただけますでしょうか。こちらが歳入歳出予算見積総括表でございます。今回の補正予算は、歳入歳出、それぞれ5万5,000円を増額計上するという内容になってございます。この内容ですけれども、平成27年度、今年度中に、個人お2人の方からいただきました教育費寄附金につきまして、教育振興基金に積み立てるという内容でございます。寄附金の歳入、そして積み立ての歳出という内容になってございます。

2ページに歳入予算、また、めくっていただきまして、3ページに歳出予算見積りの概要を記載しております。

また、4ページには、教育振興基金の運用状況を記載しておりますので、ご参照いただければと思います。

提案理由の説明は以上でございます。

○高部教育長 以上で提案理由の説明は終わりました。委員の皆様のご質問をお願いいた

します。

○角田委員 よろしいですか。

○高部教育長 はい、どうぞ。

○角田委員 これに対しては、全く異議はないんですが、質問なんですけれども、こういう寄附金をいただいた場合には、お名前の公表とか、ご本人の希望はとるんでしょうか。

○高部教育長 総務課長。

○高松総務課長 寄附をいただくときに、寄附の申出書に記載をいただきまして、お名前ですとか金額について、非公表を望まれる方はその旨を記載していただきまして、そのような取り扱いをさせていただいているところでございます。

○角田委員 名前と金額を公表していいですよという場合には、どこで、どういう形で公表するのですか。

○高松総務課長 教育費の寄附金につきましては、ホームページで状況を公開させていただいております。

○角田委員 ありがとうございます。

○高部教育長 では、私から。平成24年から、この基金を条例制定して、基金を積み立てるようになったんですが、今まで累計で何件あるか、わかりますか。

○高松総務課長 平成26年度につきましては、6件ございました。27年度は、今お話のとおり2件というような形でございますので、平均的にはそれぐらい、2件、3件というところなのかなと思います。

○高部教育長 わかりました。ちなみに、この4ページのところの運用状況で、基金に貯めるだけじゃなくて充当して活用しようという部分で、これはたまたま、今年度で60万というのが出ているんですけれども、どういうふうに使われたのか、ちょっと説明していただけますか。27年度の当初予算に係ることだったんでしょうけれども、所課長。

○所指導課教育施策担当課長 これはコミュニティ・スクールガイドというのを3学園で作成いたしました。1学園当たり20万円というところで、印刷費を出して、各学園の教育活動の特色あるものを広報するためのものとして作成をいたしました。

主な紙面は、コミュニティ・スクールというのは一体どういったものなのかということの紹介と、それから、学園でのさまざまな取り組み、コミュニティ・スクール以外での取り組みを紹介するものになっております。

○高部教育長 そういった活用も見せながら、こういうふうに使って使っていますということも見せながら、また広く基金を募るといようなことです。ちなみに、税制上もふるさと納税という、これはいろいろ賛否両論はあるんですけれども、そういう制度で、日本でも寄附文化を醸成していこうという中で、三鷹市でも福祉基金があったり、環境基金があったり、まちづくり基金がある。その一つに、また教育基金があるということで、教育基金はその中では比較的規模の小さいほうなんですけれども、市全体では、かなり基金の積み立てが多くなっているんで、その所要の本来の目的に合ったような活用の仕方もしながら、また募集しているという状況です。

よろしいでしょうか。

ほかにご質問、ご意見がなければ、採決いたします。

議案第4号 平成27年度一般会計補正予算見積書については、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○高部教育長 ご異議なしと認めます。本案は原案のとおり可決されました。

日程第3 三鷹市立小・中学校卒業式及び入学式に使用する告辞文について

○高部教育長 日程第3 三鷹市立小・中学校卒業式及び入学式に使用する告辞文についてを議題といたします。

初めに、事務局から説明をお願いいたします。指導課長。

○宮崎指導課長 指導課長です。2ページをごらんください。三鷹市立小・中学校卒業式及び入学式に使用する告辞文についてということで、この小・中学校22校の卒業式と入学式におきまして、卒業生及び新入生、そして、そこに参集している保護者、地域の方も含めて、お祝いと励ましの言葉を送るといった趣旨のものになっております。

ちなみに、本年度の卒業式、それから来年度の入学式につきましては、下に書かせていただいております、3月、4月となっております。ご参照ください。

ページを開いていただきますと、3ページ、4ページに今年度の3月の小学校の卒業式の告辞文がございます。この小学校の卒業式の告辞文につきましては、ノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智氏が定時制高校に勤務をしていた。その際に、工場に勤めている生徒たちが熱心に勉強する姿を見て、大学院に進む決意をしたというエピソード。それから、おばあ様に言われた、人のためになることを考えなさいという言葉に導かれて研究に取り組んだエピソードを取り上げて、子どもたちが今後出会うであろう、さまざまな分かれ道において、よりよい判断ができる人になってほしいというメッセージを伝えるものとなっております。

続きまして、めくっていただきまして、5ページ、6ページ、これが中学校の卒業式の告辞文でございます。ラグビーワールドカップでの日本代表チーム、大変活躍をしたわけですが、そのヘッドコーチを務められましたエディ・ジョーンズ氏の、できないことを考えるのではなくて、できることを考えるという言葉を取り上げて、厳しい練習にも耐える日本人選手の勤勉さを生かして、世界一タフなチームをつくり上げたエピソードを紹介させていただいて、自分の道を切り開いていくためには、自分自身の強みを知り、それを最大限に発揮することが必要だというメッセージを伝えるものとなっております。以上が卒業式です。

そして、まためくっていただきまして、7ページが小学校の入学式の告辞文、そして、8ページが中学校の入学式の告辞文というふうになっております。入学式の告辞文につきましては、小・中とも、これから始まる学校生活が充実したものとなるようにというメッセージを中心に作成をしているものでございます。

以上、よろしくお願いたします。

○高部教育長 以上で事務局からの説明は終わりました。委員の皆様のご質疑、ご意見

をお願いいたします。いかがでしょうか。

では、私から一つ。卒業式の告辞文は、時々のトピックを捉えて、教育的な意味、内容をそれぞれ小学校、中学校に合わせてメッセージを伝えるということが主なので、一方で入学式は、今まで、ほとんど変わってはいないと思うんですけども、例えば、授業の中で、子どもたちが自分の成長を振り返りながら、その保護者も含めて、いろいろな方たちの支援というか、サポートによって自分が成長してきたという、自分を確認すると同時に、周りに対する感謝みたいなものを指導されていますね。

ところが、小学校の1年生でどうかというのは思うんですけども、中学校段階では、これから始まる中学校生活に対する期待とか、こういうことが書いてあるけれども、そこまで至った保護者や、送り出してくれた小学校の先生とか、そういう人たちへの感謝という言葉は、最近の一つも入らないんですね。そこら辺はどうなんでしょうか。何かこれまでと変わってきた部分というのはあるんでしょうか。もともとこうなんでしょうか。

○宮崎指導課長　　ずっと過去のことは、ちょっとわかりませんが、比較的、入学式に関しては、ここでも、最後から二つ目の段落のところには、ご家族のこと、それから、要するに学園としての、ここが三鷹の特徴なんですけれども、顔なじみとなった先生とか先輩とかというところの支えというところは出てくるので、感謝しなさいという言葉はございませんけれども、その人とのつながりとか、そういうものを大切にということは含めているのかなと思います。感謝というのは、余り入学式でいきなりというのは、聞かないのかなという気がするんです。

○高部教育長　　卒業式でも、今までともに学んだというか、指導していただいた先生への感謝、今は謝恩会とか、仰げば尊しはやらないんでしょうけれども、そういう感謝というのは、卒業式の場面では昔はありましたけれども、今はそういう言葉というのは、もう全然、この中にはないんですね。

○宮崎指導課長　　告辞文の中には入っていませんけれども、もちろん卒業式の後の中学生、あるいは小学生のメッセージの中で必ずそれは入っています。中学生は涙ながらに言います。

○高部教育長　　ほかに何かご質疑、はい、池田委員。

○池田委員　　二つありまして、一つは、小学校の告辞文がもう少し短くなったらいいなというのがあります。なかなか小学6年生が、あの長い時間、ずっと座っているというのは、そもそも大変なところで、もうちょっと縮めるところがあれば、縮められるといいかなというふうに思いました。でも、もうこういう形で、これまできているということであれば、別に無理にということではありませんが、意見としてお聞きいただければと。

もう一つは、私が去年、出させていただいたときの感想なんです。中学生たちが将来の夢を壇上で1人ずつ語ったりしてくれるんです。それがすごくよくて、こっちもじーんときちゃって、我々も子どもの育ちを見て力をもらうとか、ありがたいなという気持ちになったんです。そういうところを、こうやって、頑張りなさいよ、育ててくれた人に感謝しなさいよというだけじゃなくて、我々も、子どもたちが立派に育ってくれてありがたいし、それで力をもらっているんだよということを何か言ってあげたいなというところがあ

ります。何か一言、そのようなくだりがあればいいなど。

小学校の入学式のところで、育ててくださいましたと、立派な1年生になったことを全ての人が喜んでますという一文があるんです。この程度でもいいと思うんですけども、特に卒業式に、ちょっと一言、取り込んでもらえないかなと思います。

○高部教育長 感謝の念は自発的なものですが、中学校に進み、成長をともに喜ぶという、そういう視点。

○宮崎指導課長 検討させていただきます。

○角田委員 いいですか。

○高部教育長 はい、どうぞ。

○角田委員 卒業式の告辞文で、去年もこのぐらいのボリュームがありましたか。読んでいて、私は少し多いなという気がするんですけども、どうですか。

○宮崎指導課長 どうしても具体的なエピソードを入れてくる中では、そういうことになっているのかなというふうには思います。

○角田委員 ほんとうによく毎年、きちっと検討されて、いい文面をつくっていただいていると思います。

○高部教育長 教育委員会の告辞は、校長先生の次ぐらい、初めのほうですね。後の人はちょっと大変だと思います。挨拶がずっと続いたときの子どもの反応が、小学校はちょっと耐えられない部分はあるかもしれません。

○宮崎指導課長 そうですね。

○高部教育長 ほかにいかがでしょうか。

それでは、ほかにご質問、ご意見等がなければ、確認をいたします。

日程第3 三鷹市立小・中学校卒業式及び入学式に使用する告辞文につきましては、先ほどの点を踏まえて工夫をしていただいて、その上でご了解をいただくということでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○高部教育長 それでは、本件については、委員の皆様のご了解をいただいたものといたします。

日程第4 教育長報告

○高部教育長 引き続き、日程第4 教育長報告に入ります。

○山口教育部長 私からは、きょうはございません。

○高部教育長 では、総務課長。

○高松総務課長 それでは、各課の報告をさせていただきたいと思います。総務課、10ページ、11ページをお開きください。総務課庶務係関係になります。

10ページの実績等報告ですが、一番下段の2月4日ですが、教育委員会職員を対象としました危機管理対策研修を開催いたしました。昨年末の市立小・中学校におけます不祥事を受けまして、リスク管理の専門家を講師に招きまして、不祥事の再発防止、また対応策等についてお話をいただいたところでございます。

続きまして、右側、11ページの予定等報告ですが、こちら一番下段です。2月26日金曜日から第1回市議会定例会が開催される予定となっております。その他につきましては、記載のとおりです。

続きまして、12ページ、13ページをごらんください。こちらは教育センターと施設関係の実績予定等報告になっております。主な設計委託、工事関係につきましては記載のとおりでございます。年度末の完了に向けまして、現在、順調に進捗をしているところでございます。

総務課からは以上でございます。

○高部教育長 次に、学務課、お願いします。

○桑名学務課長 続きまして、学務課でございます。14ページの行事等の実績でございます。1月13日に学校給食における市内産野菜活用推進連絡協議会を開催しました。昨年12月21日に締結した協定書に基づき設置した連絡協議会で、当日はJA、生産者、協力農家の皆様、市が出席しまして、学校給食における市内産野菜活用のさらなる推進に向けて、今後の使用率向上の具体的な方策の検討を行ってまいります。

それから、一番下段になります2月4日、昨日になりますが、本年度、2回目の教育支援推進委員会を開催しました。保護者、学識経験者、学校関係者等の出席をいただきながら、教育支援プラン2022の推進状況の確認、検証等を行いまして、必要な改善を検討しながら、計画の円滑な推進を図っております。

続きまして、15ページの予定でございます。2月8日月曜日に学校給食運営委員会を開催する予定でございます。学校給食の充実に向けて、学校長、学校栄養職員、PTA代表、保健所職員、教育委員会事務局職員で構成する組織でございます。給食の献立、衛生管理、その他運営方法に関するさまざまな検討を行っております。

翌9日になりますが、就学相談説明会を予定しております。平成29年度、再来年度になります。小学校に入学するお子さんの保護者の方を対象として、主に北野ハピネスセンターへ通所する就学前の児童の保護者に向けて、就学相談の流れなどの説明を行うものです。

学務課からは以上でございます。

○高部教育長 指導課、お願いします。

○宮崎指導課長 お願いします。16ページ、17ページです。

まず16ページですけれども、1月23日に全国いじめ問題子供サミットが、文部科学省が主催して行われまして、三鷹市から2校、第三中学校と第六中学校が出席して、さまざま提案をしたり、議論をするというようなことがございました。

また、1月26日から2月5日のところに、中学校の書写展が入っておりますけれども、今、これはちょうど2階のフロアのところに展示しておりますので、もしよろしければ、ごらんいただければと思います。

また、2月1日ですけれども、主幹教諭、指導教諭、主任教諭を対象とした服務事故防止研修、実際は主幹教諭と主任教諭、各学校1名ずつ出席をしてもらいまして、管理職以外、主幹、主任の役割が非常に大きいということで、研修をいたしました。

17ページですけれども、今度の日曜日、2月7日です。第7回中学生「東京駅伝」が
ございます。味の素スタジアムで行われますので、頑張してほしいなと思っております。

それから、9日から14日なんですけれども、左側の東京都公立学校美術展、公美展と
言ったりしますが、これはもう例年のことですが、その右側の東京都小学生科学展、これ
が新規の事業になっておりまして、各地区から1名ずつ参加になっております。三鷹から
は、第二小学校の6年生が出展をしております、口頭で発表するという、ただ飾るだけ
ではなくて、やってきたことについて語る時間がございます。何をしたかという、この
子は大地の不思議ということで、地層と断層の実験ということで、何かゼリーみたいなも
ので地層を表現したりすることをやっていたという話ですけれども、そのような形で口頭
発表もあるということでした。

それから、19日には連雀学園の研究奨励校の発表会が第一中学校で、小学生もここで
授業をするという形でございます。ぜひ、ご参加をいただければありがたいなと思いま
す。その他、研究発表がございますけれども、ごらんとおりになっております。

さらに、27日ですけれども、みたか教師力養成講座Ⅰの閉校式がネットワーク大学で
行われます。

指導課は以上です。

○高部教育長　それでは、生涯学習課。

○古谷生涯学習課長　18ページ、19ページをお開きください。

まずは、実績でございます。18ページでございますが、1月11日、成人を祝福する
つどい、今年度の成人は1,855人でございますけれども、そのうち926人の参加がご
ざいました。節度ある成人の取り組みがございまして、実行委員さんを初めとして、大
きな問題もなく終了したものでございます。

また、17日でございます。考古学講演会「縄文VS旧石器」の講座を産業プラザで実
施しております。これにつきましては、文化財保護審議会の小林先生、長崎先生、それ
ぞれが縄文と旧石器のご専門でございますけれども、2人が並んでご説明をしていただ
いたようなことになっております。

また、31日につきましては、エコミュージアム入門講座、古文書寺子屋みたか村とい
うことで、三鷹市大沢に伝わります箕輪家文書についての読み書きの方法を教えていた
いたものでございます。36人ほど参加されております。

予定でございますけれども、2月19日金曜日、山崎直子宇宙飛行士講演会が公会堂、
光のホールで行われる予定でございます。先着700人ということで、5時から7時まで、
開場は4時からということなんですけれども、小・中学生から一般まで対象として、東京
井の頭ロータリークラブが主催いたしまして、三鷹市教育委員会で共催をする事業とな
っております。

生涯学習課からは以上でございます。

○高部教育長　それでは、スポーツ振興課。

○室谷スポーツ振興課長　スポーツ振興課でございます。

20ページをごらんください。昨日、2月4日までの実績等の報告でございますが、下

から3番目の1月21日木曜日、第3回三鷹市民駅伝の実行委員会を開催いたしました。この場では、11月に開催しました駅伝大会の会計報告、そして、来場者、スタッフ、選手の方々にとってアンケートの集計結果を報告した上で、次回への反省点や提案などを出し合ったという内容です。

翌22日の金曜日、スポーツ推進審議会を開催しました。こちらは、平成29年4月にオープン予定の新たなスポーツ施設、こちらで指定管理者制度を導入した後の事業展開について、私たちの計画をお示しした上で、各委員の方からいろいろなご意見を頂戴したところです。

次、21ページをごらんください。一番上段です。こちらは2月8日、来週の月曜日でございますが、馬とのふれあい事業ということで、こちらは三鷹市立第一小学校の3年生を対象に、午前中にまず、馬とのふれあい体験、一人ひとり、えさやりですとか、乗馬体験もしていただきます。そして、午後には、こちらは東京大学の馬術部の部員による、馬の習性ですとか、あるいは馬術競技の紹介、また、オリンピックの歴史などの講義を予定しております。

次の2月15日のスポーツボランティア養成講習会、こちらは伊藤華英さん、ロンドンオリンピックの水泳の代表選手なんですけれども、あと、専門の研究員の方を講師にお招きして、いろいろな角度から、あるいはオリンピックでのボランティアの活躍ぶりですとか、そういったことをいろいろお話ししていただきながら、三鷹で今後、いかにそういったことを拡大していくかということをテーマにしております。

最後のコアトレーニング教室でございますけれども、コアトレーニングというのは、体幹を鍛えるようなトレーニングの内容でございます。40人募集のところ、56人のお申し込みをいただきまして、なかなか人気のある申し込み状況でございました。

スポーツ振興課は以上でございます。

○高部教育長 総合スポーツセンター建設推進室。

○向井総合スポーツセンター建設推進室総務担当課長 ございません。

○高部教育長 次、社会教育会館、お願いします。

○新名社会教育会館長 社会教育会館でございます。22ページ、23ページをごらんください。

まず、実績でございます。記載のとおり、市民大学事業を初めとする経常事業を継続しておりますが、最後の2月1日に公民館運営審議会ということで、今期の審議会では第7回目ということで開催をいたしました。この中では、やはり社会教育会館が新施設に、生涯学習センター（仮称）として移転が決まっておりますので、そこに向けた行政の動き、並びに、この間、関係団体の方々ともいろいろお話し合いを重ねてまいりましたので、そのことのご説明を申し上げてまいりました。

予定のほう、23ページについては記載のとおりということでございます。

会館は以上でございます。

○高部教育長 図書館、お願いします。

○田中三鷹図書館長 図書館でございます。24ページ、25ページをごらんください。

まず、12月8日から展示を開催させていただいている「作家 津村節子の世界一夫 吉村昭とともに」を2月2日より、展示内容をリニューアルして再開しております。こちらは、津村先生から直筆原稿、受賞作品であります「流星雨」、「智恵子飛ぶ」、あと、2013年に出された「三陸の海」の直筆原稿をお借りして、展示をしております。また、執筆活動、取材活動に使われた品々もあわせてお借りをして、展示をさせていただいております。また、写真は、100冊以上のアルバムをお借りして、プロジェクターを使用したスライド映像、あとはパネルにして、あわせて展示をさせていただいております。

今回、津村先生には、三鷹市民へのメッセージということで執筆をいただいたほか、三鷹市民へのお勧めの本として、津村節子さんの3作、吉村昭さんの作品3冊を選んでいただいて、解説もつけてご紹介をさせていただいております。

予定でございますが、2月7日日曜日、「みたかとしょかん図書部！」とアジア・アフリカ語学院による交流イベント、「バレンタインのお菓子を作ろう！」を開催いたします。こちらは中・高生向け多文化交流イベントとして、南部図書館のみんなみサポーターの協力のもと、開催をさせていただきます。

こちらの記載にはないんですが、三鷹市立図書館では、新たなサービスとして、メールマガジンの配信を開始いたしました。1月23日から募集を開始し、現在、登録が85人となっております。2月から、毎月10日、メールマガジンを配信させていただきますが、内容としては、図書館員のコラム、図書館員がお勧めする本、三鷹に関連するレファレンスなど、多彩な情報を登録いただいた方に情報提供させていただく形で配信をさせていただきます。

図書館は以上でございます。

○高部教育長 以上で報告は終わりました。委員の皆様の質疑をお願いいたします。

○須藤委員 よろしいですか。

○高部教育長 はい、どうぞ、須藤委員。

○須藤委員 2点あるんですが、1点目が10ページの総務課の2月4日の危機管理対策研修ということなんですが、これはどのような階層の職員が対象ですか。

○高松総務課長 教育委員会の事務局職員ということで、職層も限らず、部長から主事まで全員を対象として実施をいたしました。午前、午後、2回開催いたしまして、どちらかに出席して受講するという形で実施をしております。

○須藤委員 それともう一点が、21ページの2月15日のスポーツボランティア養成講習会ということなんですけれども、今後、オリンピック等々でボランティアという話が出てくると思うんです。例えば、中学生ぐらいになると、多分、ボランティアを活発にされていると思うんですけれども、オリンピックに向けて、学生向けに、例えば今後、そういったボランティアはこういったようなものだよといったような講座というのは、今後、開催計画等々はあるんでしょうか。

○室谷スポーツ振興課長 そうですね。ボランティアの育成支援につきましては、先ほどの基本方針でもございましたけれども、今後、やはりオリンピックも見据えて、順次、拡充していく予定でございます。やはり学生さんの支援、今も市民駅伝やスポーツフェス

ティバルなどでご協力いただいているのですが、そういったところをまず基軸にしながら、また、杏林大学も4月から全面移転してきますので、いろいろな働きかけをしながら、こういった活動、そして、レガシーといいますか、一過性のものでないような形で継続して、そういった形を拡充して、醸成していきたいと考えております。

○高部教育長 学校教育からは何かありますか。

○宮崎指導課長 今でも中学生がさまざまな、例えば、私が一番、印象に残ったのは、全ての小学校の運動会で地域の中学生がボランティアをしている。水をまいたり、いろいろな子どもの整理整頓をしてくれたり。あるいは芝生に関しても、ボランティアとしてやっているという素地がございますので、連携しながら、今後やっていくことにはなるかと思えますけれども、そういう素地はあるのかなというふうに思います。防災もそうですね。防災も必ず中学生が出席しているということもあります。

○高部教育長 補足しますと、オリンピック・パラリンピック教育で、従来は推進校制度ということで順次やってきました。それで、東京都は28年度からは全校展開するというふうに言っているんですけども、ただ、具体的な予算づけがある事業内容がまだ示されていない状況ですので、これから、それぞれの全学校でどんな展開をされるかはちょっとわからないんですが、ただ、東京都が1月に策定した実施方針を見ると、非常に幅広い、オリンピック精神とかだけではなくて、スポーツだけではなくて、文化とか環境とか活動とか、そういうことも含んでのオリンピック教育だということがうたわれていますので、今おっしゃったようなスポーツボランティアも含めた、子どもたちのいろいろな活動に、オリンピック・パラリンピックを機にして、学習を充実させるということがおそらく入っていますので、その具体化については、今後東京都と調整しながら、また全校展開していきたいと思っています。

ほかにかがででしょうか。はい、高橋委員。

○高橋委員 図書館の展示ですけれども、どのぐらいの方々が見ておられますか。

○田中三鷹図書館長 まだ統計自体がとれていないのですが、私どもで目録をつくらせていただいたので、それで次回以降の実績の報告で、目録がどれだけ手にとられたかで実績のご報告をさせていただきたいと思いますが、頻繁に、お1人、お2人は定期的に見ていただいている状況で、ノートを設置させていただいて、自由にご意見を書いていただくようなものも用意させていただいているんですが、まだ数名ですが、そちらにも記載をいただいて、評価をいただいているような展示で実施をさせていただいております。

○高橋委員 わかりました。続けていいですか。

○高部教育長 はい、どうぞ。

○高橋委員 馬とふれあい事業というものの今後の展開というのは、第一小学校から始まって、全市展開をするようなことを考えておられますか。

○室谷スポーツ振興課長 そうですね。来年度以降も、先日も校長会にお邪魔をしまして、この事業の趣旨をご説明した上で、ぜひ、ご協力いただきたいということでお願いをして、できれば全校展開していきたいなと考えております。

○高橋委員 わかりました。事業の子どもたちの反応とかを評価していただいて広げる

ということでしょうか。学校はいろいろなことが入ってきてしまって、位置づけが難しいこともあるので、その効果検証を行った上でやっていただければなというふうに思います。

○室谷スポーツ振興課長　そうですね。はい。実際には、今年度も、東京大学の馬術の馬場が大沢六丁目にございまして、2回ほど実験的に開催したんですけれども、非常に高評価を得ていまして、そしてまた、今回、一小の岡田校長先生に非常にご協力いただいて、いろいろとそういうご事情はあると思うんですが、その辺も踏まえて進めていきたいと考えております。ありがとうございます。

○高部教育長　2月8日は、天気はちょっと悪そうですが、1日構成で午前、午後という形だったけれど、対応できるんですか。

○室谷スポーツ振興課長　はい。朝6時に決定する予定で、授業の関係もございまして、雨の場合はまた延期ということになります。

○高部教育長　ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、日程第4　教育長報告を終わります。

日程第5　議案第5号　校長人事の内申について

日程第6　議案第6号　副校長人事の内申について

○高部教育長　次に、委員の皆様にお諮りをいたします。

日程第5　議案第5号及び日程第6　議案第6号につきましては、人事案件のため、秘密会で審議したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○高部教育長　ご異議なしと認めます。よって、秘密会を開くことに決定いたしました。

この際、議事の都合により、しばらく休憩いたします。

午後　2時11分　休憩

午後　3時07分　再開

○高部教育長　以上をもちまして、平成28年第2回教育委員会定例会を閉会いたします。

午後　3時07分　閉会